

褒章受章者の横顔

黄綬褒章（弁理士業務功労）



たむら きみ ぶさ
田村 公 總 昭和18年7月17日生

学歴・職歴 昭和41年慶應義塾大学法学部法律学科卒業，（現在）田村特許事務所
弁理士会歴 昭和44年弁理士登録（第7327号），平成4～5年常議員，昭和63～平成元年長期ビジョン委員会副委員長，同2年企画委員会副委員長，同3年21世紀対応第5委員会副委員長，同10年審査委員会部長，総合政策検討委員会副委員長，同13～14年紛議調停委員会委員
賞 平成6・14年弁理士会特別功労表彰，同12年弁理士会永年功労表彰
受章に浴して 章の「疑わしきは与うるに従う」そうである（原文は「賞疑従與」）。平々凡々にして，然したることもしていないのに，人様には疑わしいかのように見えたようだ。偏に皆様のご指導並びにご高配の賜物と心得る所以である。疑わしい外見を何とか守りつつ，皆様から頂戴したご恩を幾分なりとも社会にお返しできるようになりたい，秋の深まりを感じ乍ら，身の程を忘れてそう思う昨今である。

黄綬褒章（弁理士業務功労）



こ ばやし やすし
小 林 泰 昭和22年3月29日生

学歴・職歴 昭和46年中央大学理工学部電気工学科卒業，（現在）ユアサハラ法律特許事務所
弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7527号），同62～63年常議員，同58年特許制度運用協議委員会副委員長，同61～63年ペーパーレス問題対策委員会副委員長，平成4年綱紀委員会委員長，同8年審査委員会委員
賞 平成3年弁理士会特別功労表彰，同14年日本弁理士会永年功労表彰
受章に浴して この度の受章にあたり，多くの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。30年の歳月を通して，弁理士業務に情理を尽くして携わりたいと思いつつも，振り返れば反省ばかりが脳裏を横切ります。これを機に，初心に立ち返り，予想を遙かに超える高度情報化された国際社会において，弁理士として何が出来得るのか，弁理士そして特許事務所はいかにあるべきか，また若い方々に何を引き継ぐことが出来るのか，ということに暫し思いを巡らしてみたいと思います。

今後とも宜しくご指導，ご鞭撻をお願い申し上げます。

褒章受章者の横顔

黄綬褒章（弁理士業務功労）

はた ぎし よし お
畑 岸 義 夫 昭和11年12月14日生

学歴・職歴 昭和43年関西大学法学部法律科卒業，（現在）あい特許事務所
弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7532号），昭和62～63年常議員，同60～61年会誌委員会副委員長，同63年弁理士会経理規定検討委員会副委員長，平成元年近畿支部副支部長，同3年商標委員会副委員長，同8～9年研修所副所長，同12～13年海外協力委員会副委員長
賞 平成3年弁理士会特別功労表彰，同10年弁理士会永年功労表彰

受章に浴して この度の受章は会員皆様のご厚意によるものと感謝しています。商標を主とした弁理士業務，会務活動，人とのお付き合いにあつては，“What can I do for you?”と皆さんに私は問いかけながら処してまいりました。今後とも，この言葉と共に微力ながら社会活動を続けましょう。

皆様のご厚意ご引き立てに重ねて感謝いたします。

黄綬褒章（弁理士業務功労）

うえ き きゅう いち
植 木 久 一 昭和14年7月17日生

学歴・職歴 昭和38年大阪大学薬学部薬学科卒業，（現在）三協国際特許事務所
弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7540号），同57～58年常議員，同57・59年近畿地方委員会副委員長，平成3～11年研修所運営委員，同4年共済委員会副委員長，同12～13年研修所副所長
賞 平成5年弁理士会特別功労表彰，同12年弁理士会永年功労表彰

受章に浴して 黄綬褒章というのは，私にとって無縁である筈でした。その為，毎春・毎秋に，諸先輩方が褒章を受章されるニュースを伺っておりながら，喜びをご一緒させて頂くこともせず，やや無関心に打ち過ぎておりました。こんな無礼者でありながら，このたびご推薦を得て突然ライトアップを受けることとなり，3枚目の自分に与えられた果報を良く理解できないまま，無縁でなくなった黄綬褒章の意味などを考え考え，本稿を記しております。

弁理士会の過去の会報を紐解きながら，これまで黄綬褒章を受けられた先輩の方々のお名前を改めて確認させて頂きました。そして自分がその末席に連らせて頂いたことへの恐れと嬉しさを感じつつ毎日を送っていますが，先輩各位から色々な活動の場をお与え頂いたことへの感謝と，同期登録で関西在住の亀井氏，倉内氏，畑岸氏といった錚々たる仲間の引きとしか考えられない今回の果報への感謝を忘れることなく，日本弁理士会の発展のために，更なる元気を出して頑張らなければならないと肝に銘じております。

ところで天皇陛下の拝謁に際して，陛下が受章者の列前をゆっくり歩かれたとき，小生の髭が乃木大将の髭に似た点があったためかと存じますが，最前列にいた小生の前で一瞬立ち止まられ（た様に感ぜられ），連日の行事でお疲れのご様子の瞳が輝きを増して何か一言お言葉が出そうな御口許になりました。その時の個人的親近感は終生忘れ得ない思い出となることでしょう。

今回の受章の喜び，感謝，体験などを妻と一緒に味わえることができ，私は幸せ者であったと，皆様方に改めてご報告並びに御礼申し上げます。

また，私を今日まで支えて下さった事務所の仲間から心からお礼を申し上げます。

褒章受章者の横顔

黄綬褒章（弁理士業務功労）



ないとうよしあき
内藤嘉昭 昭和21年4月19日生

学歴・職歴 昭和45年日本大学法学部法学専攻科修了，（現在）日栄国際特許事務所
弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7557号），同58・平成10～11年常議員，昭和49年令規委員会委員，同54年会館および資料委員会副委員長，同55年会誌委員会副委員長，平成2年審査委員会委員，同9年綱紀委員会委員，同12年業務対策委員会副委員長，同13年日本弁理士会と特許庁技術懇話会との懇談会，委員長

賞 平成12年弁理士会特別功労表彰，同14年日本弁理士会永年功労表彰

受章に浴して 小春日和の宮殿では芝生の緑に映える紅葉の庭園と陛下のナマのお言葉に感激しましたが，その感激も冷めやらぬ今，事務所のある都内と地元の館林市とで日本弁理士会をはじめ大小さまざまな規模での祝賀会が企画されていることを知らされ，ありがたいことと感じ入っている一方で，心の片隅から「舞い上がるなよ」の警告音が聞こえてもいます。いただいた「褒章の記」には「業務に精励し衆民の模範である」とあります。未だそこには到っていないというのが本心ですが，これを目指すのがこれからの私の道であります。ありがとうございました。

黄綬褒章（弁理士業務功労）



ひびや ゆき ひこ
日比谷 征彦 昭和14年2月1日生

学歴・職歴 昭和38年早稲田大学第一理工学部応用物理学卒業，同年日本鋼管（株）入社，（現在）日比谷特許事務所

弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7594号），昭和53～54年常議員，同51年弁理士職域委員会副委員長，同52年研修委員会副委員長，同55年会誌委員会副委員長，同57年会誌委員会委員長，同61年意匠委員会副委員長，同63～平成元年選挙管理委員会委員，同3・6年弁理士登録審査会委員
賞 平成元年弁理士制度90周年記念式典特別功労表彰，同11年弁理士会永年功労表彰

受章に浴して 新聞発表以来，多くの方々からご祝意をいただき，褒章伝達，拝謁を経るにつれて，受章の重みを実感してきました。平々凡々ながら30年にわたり，どうにか無事に続けてこられましたのも，皆様の永年に渡る心暖かきご指導，ご支援のお陰と深く感謝しております。

今回の受章は私にとって，ひとつの区切りとはなるでしょうが，今後も従来と同じ姿勢で，努力を続けなければと思っております。

褒章受章者の横顔

黄綬褒章（弁理士業務功労）

こ ばやし たもつ
小 林 保 昭和22年10月4日生

学歴・職歴 昭和45年日本大学法学部法律学科卒業，同53年日本大学理工学部電気工学科卒業，同53～61年鶴沼特許事務所，（現在）共進特許事務所

弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7595号），昭和62～63年常議員，平成元・10・11年特許委員会副委員長，同5・6年弁理士法改正特別委員会副委員長，同7年共済委員会委員長，同12年特許委員会委員長，同14年知的財産支援センター副センター長

賞 平成7・12年弁理士会特別功労表彰

受章に浴して 黄綬褒章受章にあたりまして，日本弁理士会正副会長をはじめ多くの方々のご尽力に深く感謝申し上げます。

昭和45年の弁理士試験に合格し，同47年に弁理士登録を行って以来，あっという間に30年の月日が流れました。この30年を振り返ると，クラシック・コンサート通いで，指揮者，ピアニスト，チェリスト等々，超一流の演奏家達を追っかけてはサインを貰って，帰宅が午前様になったり，歌舞伎，オペラを昼鑑賞し，夜クラシック・コンサートに行き，一日家を空けたり，ここ数十年ハマっている宝塚歌劇に一人で通ったり，結構，家庭を省みない生活を送ってきました。仕事のストレス解消のためと勝手な言い訳をしたりして。

また，休日に一緒に買い物に行くと前々から予定されているのに，前日に突然「明日，仕事があるから事務所に出る」と言って，約束を反故にして事務所に出まったり，子供の父親参観日だというのに仕事があるからといって事務所に出まったり，『仕事』であれば何でも許されるみたいな，勝手な思いこみで，勝手気ままに振る舞ってきました。このように犠牲を強いられてきたにも拘わらず，妻や子供たちは「お父さん体を壊さないで，がんばってね」と励ましてくれました。その言葉は私に何物にも代え難い力を与えてくれました。

今回の黄綬褒章の受章が決まったとき一番喜んだのは，妻であり，子供たちでした。「お父さん良かったね。おめでとう」という子供たちの笑顔を見たとき，ああ，この黄綬褒章は日本弁理士会が私に贈ったのではなく，私を30年間支えてくれた妻や子供たち家族に贈ってくれた勲章だったのだと思いました。

『家族の勲章』，これを携えて私は，また新たな一步を踏み出したいと思います。



褒章受章者の横顔

黄綬褒章（弁理士業務功労）

もり ひろさぶろう
森 廣三郎 昭和8年11月30日生

学歴・職歴 昭和35年岡山大学法経短期大学部卒業，同27～47年(株)クラレ，(現在)森特許事務所

弁理士会歴 昭和47年弁理士登録（第7596号），平成2～3年常議員，昭和62・平成元・2年中国・四国地方委員会副委員長，昭和63年中国・四国地方委員会委員長，平成6年特許制度運用協議委員会副委員長，同8年商標委員会副委員長，同10年令規委員会副委員長，同12・13年審査委員会部長，同13・14年令規改正特別委員会副委員長

賞 平成3・9・14年弁理士会特別功労表彰，同6年弁理士会永年功労表彰

受章に浴して この度，黄綬褒章受章の栄に浴しましたことは，誠に光栄の限りであります。

人生「花の60代」に黄綬の華を添えていただきました。これも，日本弁理士会皆様のご厚誼ご指導の賜と感謝いたしております。

受章にあたり，天皇陛下に拝謁の栄を賜ったのは，荘厳な皇居春秋の間でありました。天井には星形のシェード15個9列の計135個，1.5トンの大シャンデリアが5基もある大広間でした。天皇陛下からは「本日は褒賞受章おめでとうございます。これからも，国のため社会のため人のために尽くされることを望みます。からだに気を付けて頑張るよう祈ります」との有り難いお言葉を賜り，感慨無量で目頭が熱くなりました。これからも，弁理士業務に精励努力して「稔りの70代」を頑張ります。

今後とも，より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう，お願い申し上げます。



褒賞受賞者（弁理士業務功労）拝謁当日，弁理士会館にて